

「JR不採用事件の早期解決に向けて、更に奮闘！」

【6月中央行動終わる】

6月19日～29日にかけて取り組まれた「6月統一行動」が終わりました。30日に総括会議を開催しました。この行動には、国労各機関とJR組合員、支援者等延べ参加者は約800名、マイクで訴えた人約150名、カンパ約26000円でした。

1月から、この半年間「路頭に迷わない」解決を求めて「中央行動」として闘い続けてきました。到達点は、私達の取り組みの力で解決へ向けての情勢を作り上げてきていると確信できました。

2月16日には、全野党と公明党が参加し、「政局に絡めることなく、人道的に解決をはかる」という協力体制ができました。

「3.25判決」前に解決を図る一点で、私達は、政治対策、大衆行動、申し入れ、要請などに取り組んできましたが、結果として解決を図ることは出来ませんでした。「3.25判決」は、不当労働行為を明確に認定し、被告主張の消滅時効を排斥し、損倍の支払いを命じる判決が示されました。また、南裁判長から「早期に解決を望む」という異例のコメントが出されました。

4月には自民の「窓口」ができ、被解雇者の求める解決にあたっての要求の説明をいたしました。

5月、6月は、引き続き、政治対策、大衆行動、申し入れ、要請などを取り組み、与党に、年金問題の説明もおこないました。

6月の院内集会は、政治の動向などで開催することができませんでした。

今後、7月都議選、8月総選挙と予想されることから、地元において、今日までの到達点と今後に向けての意思統一をはかりながら、解決へ向けた政治闘争の強化をはかるためにも総選挙闘争に奮闘することを確認しました。

